

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-041777

(43)Date of publication of application : 08.02.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-221769

(71)Applicant : HIKITA MITSUNORI

(22)Date of filing : 24.07.2000

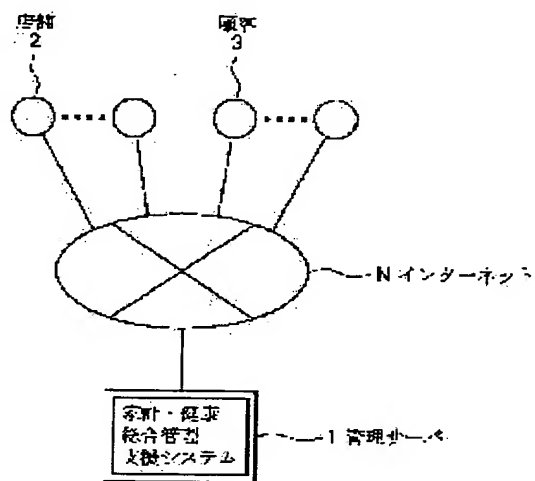
(72)Inventor : HIKITA MITSUNORI

(54) SUPPORT SYSTEM FOR FAMILY FINANCE AND HEALTH TOTAL MANAGEMENT USING INTERNET AND COMPUTER-READABLE RECORDING MEDIUM WHERE THE SAME IS RECORDED

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate the need for a dedicated customer information, a dedicated store device, dedicated software, and a dedicated network, to eliminate the need to revise software, to eliminate the need for a cost when a new member joins, to actualize high expansibility and long-distance use, and to automatically input household account book management items.

SOLUTION: This is a system which can operate on a managing server 1 where a customer terminal 3 and a store terminal 2 are so connected through the Internet N to communicate with each other, and is equipped with a dealing information receiving means 11 which receives dealing information sent from the store terminal 2, a household account book information receiving means 12 which receives household account book information sent from the customer terminal 3, a purchase information database 23 which stores the dealing information and household account book information, a customer-addressed information transmitting means 15 which transmits customer-addressed information generated by statistically processing the data in the purchase information database 23 to the customer terminal 3, and a store-addressed information transmitting means 14 which transmits store-addressed information generated by statistically processing the data in the purchase information database 23 to the store terminal 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-41777
(P2002-41777A)

(43) 公開日 平成14年2月8日 (2002.2.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 7 6 1 2 6	G 0 6 F 17/60	1 7 6 C 5 B 0 4 9 1 2 6 W 1 2 6 E 1 2 6 H 5 0 2
	5 0 2		
審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 12 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-221769 (P2000-221769)

(22) 出願日 平成12年7月24日 (2000.7.24)

(71) 出願人 500343393

疋田 光伯

徳島県板野郡土成町高尾字林坊230-6

(72) 発明者 疋田 光伯

徳島県板野郡土成町高尾字林坊230-6

(74) 代理人 100089222

弁理士 山内 康伸

Fターム (参考) 5B049 BB11 BB41 BB61 CC42 CC50

DD05 EE01 FF03 FF04 FF09

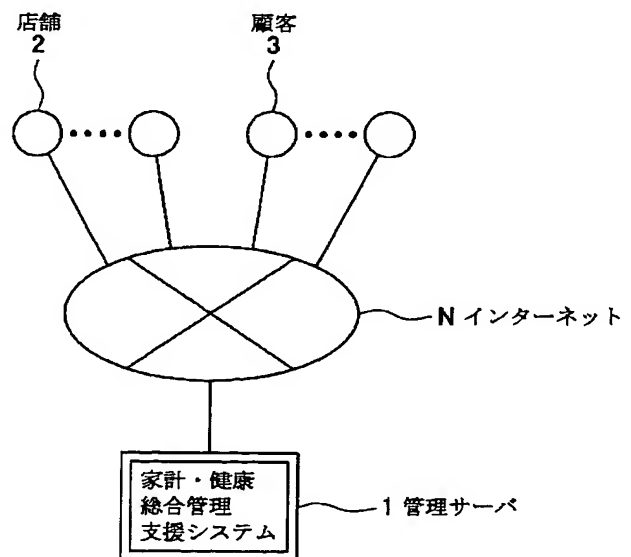
GG04 GG07 GG09

(54) 【発明の名称】 インターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムおよびこれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 専用の顧客装置や専用の店舗装置、専用ソフト、専用ネットワークが必要なく、ソフトのバージョンアップが不要で、新加入者が加わる場合に費用が必要なく、拡張性が高く遠距離でも利用でき、家計簿管理項目を自動入力できる。

【解決手段】 顧客端末3および店舗端末2がインターネットNを介して通信可能に接続された管理サーバ1で動作しうシステムであって、店舗端末2から送られる取引情報を受信する取引情報受信手段11と、顧客端末3から送られる家計簿情報を受信する家計簿情報受信手段12と、取引情報および家計簿情報が格納される購買情報データベース23と、購買情報データベース23のデータを統計処理した顧客向け情報を顧客端末3へ送信する顧客向け情報送信手段15と、購買情報データベース23のデータを統計処理した店舗向け情報を店舗端末2へ送信する店舗向け情報送信手段14を備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】顧客端末および店舗端末がインターネットを介して通信可能に接続された管理サーバで動作しうるシステムであって、前記店舗端末から送られる取引情報を受信する取引情報受信手段と、前記顧客端末から送られる家計簿情報を受信する家計簿情報受信手段と、前記取引情報および家計簿情報が格納される購買情報データベースと、前記購買情報データベースのデータを統計処理した顧客向け情報を顧客端末へ送信する顧客向け情報送信手段と、前記購買情報データベースのデータを統計処理した店舗向け情報を店舗端末へ送信する店舗向け情報送信手段とからなることを特徴とするインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 2】ブラウザソフトをいずれも備えた顧客端末および店舗端末がインターネットを介して通信可能に接続された管理サーバで動作しうるシステムであって、前記店舗端末から取引情報を入力するための取引情報入力ウェブページと、前記顧客端末から家計簿情報を入力するための家計簿情報入力ウェブページと、前記取引情報および家計簿情報が格納される購買情報データベースと、該購買情報データベースのデータを統計処理した顧客向け情報を顧客端末に表示する顧客向け情報表示ウェブページと、該購買情報格納データベースのデータを統計処理した店舗向け情報を店舗端末に表示する店舗向け情報表示ウェブページとからなることを特徴とするインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 3】食品毎の栄養成分が記録された栄養成分データベースと、前記購買情報データベースのデータのうち食品データを、前記栄養成分データベースと照合して各種栄養成分データを算出して、該栄養成分データを顧客向け情報とする栄養成分算出手段を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 4】商品毎に商品の性能および取扱説明が記録された商品情報データベースと、該商品情報データベースに格納された商品の性能および取扱説明を顧客端末に表示する表示手段とからなり、該表示手段が、各商品に対応するアイコンを表示するアイコン表示機能と、アイコンがクリックされると、この商品の性能および取扱説明を表示するジャンプ機能を備えたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 5】前記店舗端末が、スポーツクラブに配置されており、前記取引情報が、スポーツクラブで測定した体力測定データを含んでおり、該体力測定データに基づき顧客に合った運動メニューを作成する運動メニュー作成手段が設けられたことを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 6】前記店舗端末が、スポーツクラブに設置されており、顧客が購入した商品の消費状況を顧客毎に格納する健康管理データベースと、該健康管理データベースに格納された、特定の顧客の消費状況をスポーツクラブの店舗端末に開示させる消費状況開示手段とからなることを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 7】前記店舗端末が、病院に設置されており、前記取引情報が、病院で検査した顧客の検査データを含んでおり、該検査データに基づき顧客に合った食事メニューを作成する食事メニュー作成手段が設けられたことを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載のインターネットを利用した家計総合支援システム。

【請求項 8】前記店舗端末が、病院に設置されており、顧客が購入した商品の消費状況を顧客毎に格納する健康管理データベースと、該健康管理データベースに格納された、特定の顧客の消費状況を病院の店舗端末に開示させる消費状況開示手段とからなることを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 9】顧客情報を登録する顧客登録手段と、顧客情報を格納する登録顧客ファイルと、店舗情報を登録する店舗登録手段と、店舗情報を格納する加盟店ファイルと、システムへのアクセスが、登録された顧客または登録された店舗からのアクセスかどうかを認証する認証手段を備えたことを特徴とする請求項 1、2、3、4 または 5 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システム。

【請求項 10】請求項 1、2、3、4、5、6、7、8 または 9 記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムおよびこれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。さらに詳しくは、消費者のための消費情報提供システムや消費情報提供システムと売上情報提供システム、家計管理支援システムと売上管理支援システム、消費者と販売店のための消費（売上）情報共有利用システムとしても兼用することができるインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムおよびこれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、消費者のための家計簿自動記入サービスやそれに付随する家計診断サービス等を行うシステムが提案されている。かかるシステムの従来例としては、特開平 1-120665 号公報（従来例 I）、

特開平11-143952号公報（従来例II）などがある。

【0003】図12(I)に示すように、従来例Iは、店舗のコンピュータと顧客のコンピュータとを専用回線で結び、店舗側から顧客側に商品の購買データ等の取引情報を送信するというシステムである。従来例Iの場合、顧客は、専用回線で結ばれた一つの店舗での取引情報を得ることができるが、この店舗以外での取引情報を得ることができない。通常、人は種々の店舗で商品を購入するから、大半の家計データの inputs は顧客側が行わなければならない。

【0004】図12(II)に示すように、従来例IIのシステムは、顧客の所有する顧客装置、店舗に設置する店舗装置、取引情報センターに設置するセンター装置からなり、これらは通信回線によって接続されている。前記取引情報センター装置、顧客装置及び店舗装置の各専用端末をクライアントサーバ方式（LAN またはWAN）専用ネットワークによって接続し、事業を展開するシステムであり、量販店、百貨店、小売店などの店舗と顧客を結び双方に取引情報に関するサービスを行うことができる。このシステムによって、取引情報センターは顧客には家計簿の自動入力サービスや家計簿診断サービスを、店舗にはシェア情報などのサービスを行うことができるのである。この従来例IIによれば、前記従来例Iに比較して、顧客に送信される取引情報が多くなるから、顧客の家計データの inputs を軽減することができるのである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかるに、従来例IIのシステムには、以下に示すシステム構築上の問題点(i)～(v)と、システム運用上の問題点(vi)～(x)がある。

(i) 従来例IIのシステムを構築するには、専用のネットワーク構築のための費用が必要である。例えば、LANで構築する場合、光ファイバー、同軸ケーブル、トランシーバ、ハブ等により専用ネットワークを構築する費用および専用ネットワークを管理するためのソフトウェアの製作費用が必要である。また、WANで構築する場合はNTTの電話回線等を利用することになるが、基本的にはLANが拡張されたもので専用のネットワークを構築することに変わりはなく、そのための費用が必要である。

(ii) 各種装置は専用の端末であるため、従来例IIのシステムを利用する顧客および店舗はそれを購入またはリースする必要がある。この種の専用端末はコンピュータである場合が多いが、従来例IIのシステムを運用するための端末側の専用ソフトが必要である。

(iii) 上記(i)に関連して、従来例IIの専用ネットワークを自己で構築する必要があるためグローバルなネットワークを構築することが困難である。すなわち、従来例IIのシステムはグローバルな事業展開が難しい。

(iv) 上記(i)(ii)(iii)に関連して、従来例IIのシステムに新しい加入者が加わる場合、端末装置の費用、ネ

ットワーク増設等の費用が必要であり、拡張性の乏しいシステムである。

(v) 上記(i)(ii)(iii)に関連して、会員（店舗と顧客）の取引情報が取引情報センター装置に蓄積され、店舗にはシェア情報を顧客には家計簿情報が提供されるが、新しいサービスを提供する場合には、センター装置、顧客装置および店舗装置の改修がそれぞれの装置について必要となる。特に、各装置に内蔵されている専用ソフトの改修がそれぞれ必要となる。

10 【0006】従来例IIのシステムを運営した場合、以下の(vi)～(x)の問題点がある。

(vi) 従来例IIのシステムを店舗側が利用する場合、専用の店舗装置が必要であり、POSを利用している量販店、百貨店においてもPOSデータを店舗装置を介して取引情報センター装置に送信しなければならない。

20 (vii) 従来例IIのシステムを顧客側が利用する場合、専用の顧客装置が必要であり、また専用ネットワークだからネットワークが固定化されているため、顧客装置が設置されている場所でしか利用できないし、各種サービスが受けられない。

(viii) システムを展開するネットワークが開いているため、取引情報センター装置から遠距離にある店舗または顧客が従来例IIのシステムを利用するのは困難である。

30 (ix) 顧客に質の良い家計簿管理サービスを提供するには、店舗での取引情報以外にその他の家計簿管理項目の自動入力を促進しなければならない。例えば、インターネットを利用したネット販売（電子商店等）、カタログ通信販売、水道料金、電力料金、電話料金、ローン、税金等、家計簿の支出項目に関するもの全てを、従来例IIのシステムでこれを推進しようとした場合、上記の(ii)(i)、(iv)、(vi)、(viii)の理由で困難な場合が多い。

40 (x) ある地域で閉じられた専用ネットワーク（LANまたはWAN）に接続する加盟店で行われた取引情報を家計簿に自動入力することが主眼に置かれており、非加盟店での取引情報及びその他の家計管理項目（通信販売、インターネット販売、NHK、水道料金、電力料金、電話料金、ローン、税金等、家計簿の支出項目に関するもの全ての項目）については、手作業で入力する必要がある。また、従来のシステムでそれらの自動入力を促進するために、加盟店を追加しようとした場合、ハード面、ソフト面で加入店舗側、センター側の双方に、費用面及び技術面の負担が生じるため、自動入力促進のための拡張が困難である場合が多かった。

50 【0007】本発明はかかる事情に鑑み、専用の顧客装置や専用の店舗装置、専用ソフト、専用ネットワークが必要なく、専用ソフトのバージョンアップが不要で、新しい加入者が加わる場合に費用が必要なく、拡張性が高く、遠距離でも利用でき、家計簿管理項目を自動入力できるインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムおよびこれを記録したコンピュータ読み取り可

能な記録媒体を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、顧客端末および店舗端末がインターネットを介して通信可能に接続された管理サーバで動作しうるシステムであって、前記店舗端末から送られる取引情報を受信する取引情報受信手段と、前記顧客端末から送られる家計簿情報を受信する家計簿情報受信手段と、前記取引情報および家計簿情報が格納される購買情報データベースと、前記購買情報データベースのデータを統計処理した顧客向け情報を顧客端末へ送信する顧客向け情報送信手段と、前記購買情報データベースのデータを統計処理した店舗向け情報を店舗端末へ送信する店舗向け情報送信手段とからなることを特徴とする。請求項2のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、ブラウザソフトをいずれも備えた顧客端末および店舗端末がインターネットを介して通信可能に接続された管理サーバで動作しうるシステムであって、前記店舗端末から取引情報を入力するための取引情報入力ウェブページと、前記顧客端末から家計簿情報を入力するための家計簿情報入力ウェブページと、前記取引情報および家計簿情報が格納される購買情報データベースと、該購買情報データベースのデータを統計処理した顧客向け情報を顧客端末に表示する顧客向け情報表示ウェブページと、該購買情報格納データベースのデータを統計処理した店舗向け情報を店舗端末に表示する店舗向け情報表示ウェブページとからなることを特徴とする。請求項3のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1または2記載の発明において、食品毎の栄養成分が記録された栄養成分データベースと、前記購買情報データベースのデータのうち食品データを、前記栄養成分データベースと照合して各種栄養成分データを算出して、該栄養成分データを顧客向け情報とする栄養成分算出手段を備えたことを特徴とする。請求項4のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1、2または3記載の発明において、商品毎に商品の性能および取扱説明が記録された商品情報データベースと、該商品情報データベースに格納された商品の性能および取扱説明を顧客端末に表示する表示手段とからなり、該表示手段が、各商品に対応するアイコンを表示するアイコン表示機能と、アイコンがクリックされると、この商品の性能および取扱説明を表示するジャンプ機能を備えたことを特徴とする。請求項5のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1、2、3または4記載の発明において、前記店舗端末が、スポーツクラブに配置されており、前記取引情報が、スポーツクラブで測定した体力測定データを含んでおり、該体力測定データに基づき顧客に合った運動メニューを作成する運動メニュー作成手段が設けられたこと

を特徴とする。請求項6のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1、2、3または4記載の発明において、前記店舗端末が、スポーツクラブに設置されており、顧客が購入した商品の消費状況を顧客毎に格納する健康管理データベースと、該健康管理データベースに格納された、特定の顧客の消費状況をスポーツクラブの店舗端末に開示させる消費状況開示手段とからなることを特徴とする。請求項7のインターネットを利用した家計総合支援システムは、請求項1、2、3または4記載の発明において、前記店舗端末が、病院に設置されており、前記取引情報が、病院で検査した顧客の検査データを含んでおり、該検査データに基づき顧客に合った食事メニューを作成する食事メニュー作成手段が設けられたことを特徴とする。請求項8のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1、2、3または4記載の発明において、前記店舗端末が、病院に設置されており、顧客が購入した商品の消費状況を顧客毎に格納する健康管理データベースと、該健康管理データベースに格納された、特定の顧客の消費状況を病院の店舗端末に開示させる消費状況開示手段とからなることを特徴とする。請求項9のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、請求項1、2、3、4または5記載の発明において、顧客情報を登録する顧客登録手段と、顧客情報を格納する登録顧客ファイルと、店舗情報を登録する店舗登録手段と、店舗情報を格納する加盟店ファイルと、システムへのアクセスが、登録された顧客または登録された店舗からのアクセスかどうかを認証する認証手段を備えたことを特徴とする。請求項10のコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、請求項1、2、3、4、5、6、7、8または9記載のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムを記録したことを特徴とする。

【0009】請求項1の発明によれば、店舗端末からインターネットを通じて送られる取引情報を取引情報受信手段によって受信し、顧客端末からインターネットを通じて送られる家計簿情報を家計簿情報受信手段によって受信することができる。これら取引情報および家計簿情報は購買情報データベースに格納される。この購買情報データベースのデータが統計処理された顧客向け情報は、顧客向け情報送信手段によって、インターネットを通じて顧客端末に送信される。また、購買情報データベースのデータが統計処理された店舗向け情報は、店舗向け情報手段によって、インターネットを通じて店舗端末に送信される。請求項2の発明によれば、店舗端末で取引情報ウェブページに入力された取引情報は、インターネットを通じて管理サーバの購買情報格納データベースに格納される。また、顧客端末で家計簿情報入力ウェブページに入力された家計簿情報は、インターネットを通じて管理サーバの購買情報格納データベースに格納され

る。この購買情報データベースのデータが統計処理された顧客向け情報は、インターネットを通じて顧客端末の顧客向け情報表示ウェブページに表示される。また、購買情報データベースのデータが統計処理された店舗向け情報は、インターネットを通じて店舗端末の店舗向け情報表示ウェブページに表示される。請求項3の発明によれば、栄養成分算出手段によって、購買情報データベースのうち食品データを、各種栄養成分データベースと照合して各種栄養成分データを顧客向け情報とすることができる。請求項4の発明によれば、顧客端末に表示されたアイコンのうち、購入した商品に対応するアイコンをクリックすれば、商品情報データベースに格納された商品の性能および取扱説明が表示される。このため、商品の取扱説明書を家庭で保管する必要がなく、必要なときにだけ顧客端末で閲覧することができる。請求項5の発明によれば、運動メニュー作成手段によって、スポーツクラブで測定した測定データに基づいて、顧客に合った運動メニューを作成することができる。請求項6の発明によれば、消費状況開示手段によって、健康管理データベースに格納されているデータから、特定の顧客が購入した商品の消費状況をスポーツクラブの店舗端末に開示させることができる。よって、スポーツクラブによる効果的な健康管理指導を支援することができる。請求項7の発明によれば、食事メニュー作成手段によって、病院で検査した検査データに基づいて、顧客に合った食事メニューを作成することができる。請求項8の発明によれば、消費状況開示手段によって、健康管理データベースに格納されているデータから、特定の顧客が購入した商品の消費状況を病院の店舗端末に開示させることができる。よって、病院の主治医による栄養管理を含む総合的な治療を支援することができる。請求項9の発明によれば、加盟店で顧客が購買した場合には、その購買データに顧客がアクセスできるが、非加盟店で顧客が購買した場合には顧客が家計簿に自らデータ入力しなければならない。したがって、顧客は、データ入力の必要のない加盟店で積極的に購買を進めるようになるから、加盟店は非加盟店と差別化を図ることができる。請求項10の発明によれば、請求項1、2、3、4、5、6、7、8または9のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムをコンピュータで動作させることができ

【0010】

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施形態を図面に基づき説明する。図1は、本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムのネットワーク図である。同図において、符号Nはインターネットを示している。管理センターのコンピュータ（以下では管理サーバ1という）は、インターネットNを介して、多数の店舗2のコンピュータ（以下では単に店舗2という）および多数の顧客3のコンピュータ（以下では

単に顧客3という）との間で、データ通信可能である。

【0011】図2は、本実施形態の家計・健康総合管理支援システムのシステム構成図である。同図に示すように、管理サーバ1には、本実施形態の家計・健康総合管理支援システムが格納されている。本実施形態の家計・健康総合管理支援システムには、取引情報データベース21、家計簿情報データベース22、購買情報データベース23、栄養成分データベース24、商品情報データベース25および健康管理データベース26が格納されている。また、本実施形態の家計・健康総合管理支援システムには、取引情報受信手段11、家計簿情報受信手段12、連結手段13、店舗向け情報送信手段14、顧客向け情報送信手段15、表示手段16、栄養成分算出手段17および消費状況開示手段18がプログラムとして格納されている。そして、本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムには、いくつかの入出力画面が用意されている。

【0012】本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムをウェブサイトとして立ち上げる場合には、入出力画面はウェブページとして作成し、プログラムはCGIで作成すればよい。もちろん、店舗2および顧客3には、ウェブページを表示することができるブラウザソフトをインストールしておく必要がある。

【0013】また、図示しないが本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムには、顧客情報および店舗情報をそれぞれ格納する登録顧客ファイルおよび登録店舗ファイルが格納されている。そして、認証プログラムが格納されている。この認証プログラムは、システムへのアクセスが、前記登録顧客ファイルや登録店舗ファイルに登録されたユーザからのアクセスかどうかを認証するためのプログラムである。

【0014】つぎに、前記データベース21～26およびプログラム11～18について詳細に説明する。取引情報データベース21は、店舗2から送られる取引情報を格納するためのデータベースである。取引情報受信手段11は、店舗2から送られる取引情報を取引情報データベース21に格納するためのプログラムである。

【0015】家計簿情報データベース22は、顧客3から送られる家計簿情報を格納するためのデータベースである。家計簿情報受信手段12は、顧客3から送られる家計簿情報を家計簿情報データベース22に格納するためのプログラムである。

【0016】購買情報データベース23は、前記取引情報および家計簿情報を格納するためのデータベースである。連結手段13は、取引情報データベース21のデータと家計簿情報データベース22のデータを連結して購買情報データベース23に格納するためのプログラムである。この連結手段13によって、取引情報データベース21に格納されている取引情報および家計簿情報デー

データベース22に格納されている家計簿情報は、購買情報データベース23に格納されるのである。

【0017】店舗向け情報送信手段14は、購買情報データベース23のデータを統計処理し、店舗向け情報を作成し、店舗2へ送信するためのプログラムである。

【0018】顧客向け情報送信手段15は、購買情報データベース23のデータを統計処理し、店舗向け情報を作成し、顧客3へ送信するためのプログラムである。

【0019】栄養成分データベース24は、食品毎に食品の栄養成分が記録されたデータベースである。栄養成分算出手段17は、前記購買情報データベース23のデータのうち食品データを前記栄養成分データベース24と照合して、各種栄養成分データを算出して、この栄養成分データを顧客向け情報送信手段15を介して顧客3に送信するプログラムである。

【0020】商品情報データベース25は、商品毎に商品の性能および取扱説明が記録されたデータベースである。表示手段16は、前記購買情報データベース23に格納された商品の性能および取扱説明を顧客3に表示するプログラムである。表示手段16には、各商品に対応するアイコンを表示するアイコン表示プログラムが組み込まれている。また、表示手段16には、前記アイコンがクリックされると、このアイコンに対応する商品の性能および取扱説明を表示するジャンププログラムが組み込まれている。

【0021】健康管理データベース26は、顧客が購入した商品の消費状況を顧客毎に格納するためのデータベースである。消費状況開示手段18は、健康管理データベース26に格納された、特定の顧客の消費状況を店舗2に開示させるためのプログラムである。なお、ここでいう顧客が購入した商品の消費状況とは、顧客が購入した食品の摂取状況をも意味している。

【0022】図示しないが、本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムに運動メニュー作成プログラムや食事メニュー作成プログラムを組み込んでおくとよい。前者の運動メニュー作成プログラムは、店舗2をスポーツクラブに設置した場合、スポーツクラブで測定した体力測定データに基づき、顧客3に合った運動メニューを作成するプログラムである。この運動メニュー作成プログラムを組み込んでおけば、顧客の体力測定データを管理サーバ1に送信することにより、顧客に合った運動メニューを作成することができ、総合的な健康管理支援サービスを提供することができる。なお、この運動メニュー作成プログラムは、顧客の体力測定データだけでなく、健康管理データベース26に格納されている商品の消費状況（または摂取状況）をも考慮に入れて、顧客が摂取した各種栄養成分に見合った運動メニューを作成するようにプログラミングしておくといふ。この場合、顧客に、より一層好適な運動メニューを呈示することができる。

【0023】後者の食事メニュー作成プログラムは、店舗2を病院に設置した場合、病院で検査した顧客の検査データに基づき顧客に合った食事メニューを作成するプログラムである。この食事メニュー作成プログラムを組み込んでおけば、顧客の検査データを管理サーバ1に送信することにより、顧客に合った食事メニューを作成することができ、総合的な健康管理支援サービスを提供することができる。

【0024】つぎに、画面を説明する。図3は本実施形態の家計・健康総合管理支援システムの画面展開図である。同図に示すように、本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムには、購買情報データベース23のデータを家計簿表示したり、明細表示したりグラフ表示することができる画面が種々用意されている。明細書表示の場合には、購買日指定、購買週指定、購買月指定できる画面が用意されている。また、グラフ表示の場合には、商品分類別および商品別に日/週/月/年変動を表示する画面が用意されている。また、健康管理データベース26のデータを表示する画面が用意されている。

【0025】図4は本実施形態の家計・健康総合管理支援システムの画面展開図である。同図に示すように、購買情報データベース23のデータを売上管理簿表示したり、明細表示したりグラフ表示することができる画面が種々用意されている。明細書表示の場合には、購買日指定、購買週指定、購買月指定できる画面が用意されている。また、グラフ表示の場合には、商品分類別および商品別に日/週/月/年変動を表示する画面が用意されている。また、在庫管理ファイル33のデータを表示したり、自動発注するための画面が用意されている。

【0026】つぎに、本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムの作用効果を説明する。図5は顧客および店舗の登録画面である。同図に示すように、本システムでは、店舗の新規加入時には、店舗情報を入力することによって登録できる。登録した店舗を加盟店といい、登録していない店舗を非加盟店という。また、顧客の新規加入時には顧客情報を入力することによって登録できる。

【0027】顧客が加盟店で商品を実際に購入すると、この取引情報は店舗2に入力され、店舗2からインターネットNを通じて管理サーバ1へ送信され、取引情報データベース21および購買情報データベース23に格納される。

【0028】図6は家計簿作成画面である。図7は家計簿表示画面である。図8はレシート表示画面である。図6に示すように、顧客が加盟店で商品を購入した場合には、取引情報が購買情報データベース23に格納されており、購入金額が表示される。非加盟店で購入した分の金額は、四角い枠で示す入力フィールドに顧客が自分で入力すればよい。全てのデータを入力し終わってOKが

タンを押せば、図7に示すように、グラフ表示されるので顧客は自分の家計の傾向を簡単に把握することができる。また、図8に示すように、購買情報データベース23に格納されているデータを、日指定で参照することもできる。

【0029】上記のごとく、加盟店で顧客が購買した場合には、その購買データに顧客がアクセスできるが、非加盟店で顧客が購買した場合には顧客が家計簿に自らデータ入力しなければならない。したがって、顧客は、データ入力の必要のない加盟店で積極的に購買を進めるようになるから、加盟店は非加盟店と差別化を図ることができる。

【0030】図9は健康管理データ入力画面である。図10は健康管理データ表示画面である。図11は食品カテゴリー別消費状況表示画面である。図9～11に示すように、顧客が購入した商品をどのくらい消費したのかを示す消費状況をパーセントで入力する。この消費状況データは管理サーバ1に送られる。管理サーバ1の家計・健康総合管理支援システムでは、栄養成分データベース24および栄養成分算出手段17によって栄養成分毎に消費データが算出されるので、この栄養摂取状況を表示させることができる。また、図9に示すように、肉類をどのくらい消費したかもグラフにして表示させることができる。

【0031】本実施形態の家計・健康総合管理支援システムを、顧客側が利用する場合、インターネットに接続できるメディア（コンピュータ、携帯電話等）があれば、どこにいても利用できる（各種サービスが受けられる）。例えば、携帯電話から家計・健康総合管理支援システムのウェブサイトへアクセスすることによって、その時点までの自己の消費行動がチェックできる。具体的には、買い物の途中で携帯電話を用いて今日、何を、いくらで買ったか、そして、その日に購入した合計金額をチェックし、これからの購買行動に反映させることができる。

【0032】本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムは、システムを展開するネットワークが開いているため、管理サーバと店舗または顧客の距離は本システムを利用する上で全く関係ない。

【0033】顧客に質の良い家計簿管理サービスを提供するには、店舗での取引情報以外にその他の家計簿管理項目、例えば、インターネットを利用したネット販売（電子商店等）、カタログ通信販売、水道料金、電力料金、電話料金、ローン、税金等、家計簿の支出項目に関するもの全ての自動入力を促進する必要がある。本システムはそれを容易に実現できる。

【0034】なお、消費者にとっては、自己が購買行動を行うすべての販売店が本実施形態の家計・健康総合管理支援システムに参加することが、提供されるサービス

の質の向上となり、望ましい。また、消費者にとっては、市販のコンピュータまたは携帯電話が利用でき、使用場所も限定されないことが望ましい。

【0035】本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムおよびこれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体によれば、以下の(1)～(16)の作用効果を奏する。

- (1) インターネット上でシステムを展開し、個々の消費者に対する家計簿のすべての管理項目を容易に自動入力できる環境を構築し、消費者にとって負担がなく、高品質な家計管理支援サービスの提供が可能となる。また、消費者が家計・健康総合管理支援システムを利用する場合、市販のコンピュータ又は携帯電話が使用でき、使用場所も特に限定されない。
- (2) ネットワーク構築の費用は必要ない。しかも、ネットワーク管理のためのソフトウェアはコンピュータに標準装備されているソフトウェアを利用することができる。
- (3) 家計・健康総合管理支援システムを利用するために、専用の端末を購入またはリースする必要がない。また、端末側にシステム専用のソフトは必要ない。すなわち、現在所有のコンピュータまたは携帯電話を使って家計・健康総合管理支援システムを利用することができる。
- (4) インターネット上でインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムが展開されるため、グローバルな事業展開が可能である。
- (5) 家計・健康総合管理支援システムに新しい加入者が加わる場合、自宅のコンピュータまたは携帯電話から家計・健康総合管理支援システムのウェブサイトへアクセスするだけで利用できる。すなわち、拡張性のあるシステムである。
- (6) 新しいサービスを提供する場合には、管理サーバのソフトウェアを改修するだけでよく、利用者（消費者、販売店）側の改修はハードおよびソフトとも必要としない。
- (7) コンピュータまたはPOSを管理するコンピュータから直接インターネットを介して管理サーバにファイル転送すればよい。ファイル転送はコンピュータに標準装備されているコマンドで簡単に行える。
- (8) 家計・健康総合管理支援システムを顧客側が利用する場合、インターネットに接続できるメディア（コンピュータ、携帯電話等）があれば、どこにいても利用できる（各種サービスが受けられる）。
- (9) システムを展開するネットワークが開いているため、管理サーバと店舗または顧客の距離は本システムを利用する上で全く関係ない。
- 【0036】(10) システムをウェブページによって構成しているから、ウェブサイトとして運営しやすく、顧客はインターネットサーフィンの感覚でアクセスできるの

で利用しやすい。

(11) 利用者はインターネット上でウェブサイトアクセスし、ウェブページ上で提示される各種サービスメニュー項目をクリックするだけで希望のサービスが提供される。

【0037】(12) 食品毎に含有されている栄養成分表が栄養成分データベースとして管理されているため、消費情報データベースと栄養成分データベースにより、個々の家庭の各種栄養成分の摂取量および消費総カロリーが把握できるため、健康管理支援サービスの提供が可能となる。

(13) 食品毎に含有される栄養成分表が栄養成分データベースとして蓄積されているため、消費情報データベースと栄養成分データベースにより、個々の家庭の各種栄養成分の摂取量が及び消費カロリーが把握できるため、栄養指導サービスの提供が可能となる。

【0038】(14) 顧客の体力測定データを管理サーバに送信することによって、顧客に合った運動メニューを作成することができ、管理サーバに送信することにより、総合的な健康管理支援サービスを提供することができる。

【0039】(15) 顧客の検査データを管理サーバに送信することにより、顧客に合った食事メニューを作成することができ、統合的な健康管理支援サービスを提供することができる。

【0040】(16) 加盟店で顧客が購買した場合には、その購買データに顧客がアクセスできるが、非加盟店で顧客が購買した場合には顧客が家計簿に自らデータ入力しなければならない。したがって、顧客は、データ入力の必要のない加盟店で積極的に購買を進めるようになるから、加盟店は非加盟店と差別化を図ることができる。

【0041】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、以下の(1)～(9)の作用効果を奏する。

(1) インターネット上でシステムを展開し、個々の消費者に対する家計簿のすべての管理項目を容易に自動入力できる環境を構築し、消費者にとって負担がなく、高品質な家計管理支援サービスの提供が可能となる。また、消費者が家計・健康総合管理支援システムを利用する場合、市販のコンピュータ又は携帯電話が使用でき、使用場所も特に限定されない。

(2) ネットワーク構築の費用は必要ない。しかも、ネットワーク管理のためのソフトウェアはコンピュータに標準装備されているソフトウェアを利用することができる。

(3) 家計・健康総合管理支援システムを利用するために、専用の端末を購入またはリースする必要がない。また、端末側にシステム専用のソフトは必要ない。すなわち、現在所有のコンピュータまたは携帯電話を使って家計・健康総合管理支援システムを利用することができ

る。

(4) インターネット上でインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムが展開されるため、グローバルな事業展開が可能である。

(5) 家計・健康総合管理支援システムに新しい加入者が加わる場合、自宅のコンピュータまたは携帯電話から家計・健康総合管理支援システムのウェブサイトアクセスするだけで利用できる。すなわち、拡張性のあるシステムである。

10 (6) 新しいサービスを提供する場合には、管理サーバのソフトウェアを改修するだけでよく、利用者（消費者、販売店）側の改修はハードおよびソフトとも必要としない。

(7) コンピュータまたはPOSを管理するコンピュータから直接インターネットを介して管理サーバにファイル転送すればよい。ファイル転送はコンピュータに標準装備されているコマンドで簡単に行える。

(8) 家計・健康総合管理支援システムを顧客側が利用する場合、インターネットに接続できるメディア（コンピュータ、携帯電話等）があれば、どこにいても利用できる（各種サービスが受けられる）。

(9) システムを展開するネットワークが開いているため、管理サーバと店舗または顧客の距離は本システムを利用する上で全く関係ない。請求項2の発明によれば、上記(1)～(9)の効果の他に、以下の(10)～(11)の効果

を奏する。
(10) システムをウェブページによって構成しているから、ウェブサイトとして運営しやすく、顧客はインターネットサーフィンの感覚でアクセスできるので利用しや

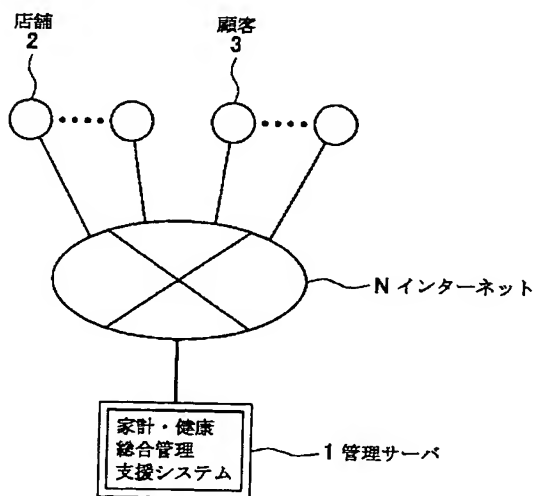
30 すい。
(11) 利用者はインターネット上でウェブサイトアクセスし、ウェブページ上で提示される各種サービスメニュー項目をクリックするだけで希望のサービスが提供される。請求項3の発明によれば、以下の(12)～(13)の作用効果を奏する。

(12) 食品毎に含有されている栄養成分表が栄養成分データベースとして管理されているため、消費情報データベースと栄養成分データベースにより、個々の家庭の各種栄養成分の摂取量および消費総カロリーが把握できるため、健康管理支援サービスの提供が可能となる。

40 (13) 食品毎に含有される栄養成分表が栄養成分データベースとして蓄積されているため、消費情報データベースと栄養成分データベースにより、個々の家庭の各種栄養成分の摂取量が及び消費カロリーが把握できるため、栄養指導サービスの提供が可能となる。請求項4の発明によれば、顧客端末に表示されたアイコンのうち、購入した商品に対応するアイコンをクリックすれば、商品情報データベースに格納された商品の性能および取扱説明が表示される。このため、商品の取扱説明書を家庭で保管する必要がなく、必要なときにだけ顧客端末で閲覧す

ることができる。請求項5の発明によれば、(14)顧客の体力測定データを管理サーバに送信することにより、顧客に合った運動メニューを作成することができ、総合的な健康管理支援サービスを提供することができる。請求項6の発明によれば、消費状況開示手段によって、健康管理データベースに格納されているデータから、特定の顧客が購入した商品の消費状況をスポーツクラブの店舗端末に開示させることができる。よって、スポーツクラブによる効果的な健康管理指導を支援することができる。請求項7の発明によれば、(15)顧客の検査データを管理サーバに送信することにより、顧客に合った食事メニューを作成することができ、統合的な健康管理支援サービスを提供することができる。請求項8の発明によれば、消費状況開示手段によって、健康管理データベースに格納されているデータから、特定の顧客が購入した商品の消費状況を病院の店舗端末に開示させることができる。よって、病院の主治医による栄養管理を含む総合的な治療を支援することができる。請求項9の発明によれば、(16)加盟店で顧客が購入した場合には、その購買データに顧客がアクセスできるが、非加盟店で顧客が購入した場合には顧客が家計簿に自らデータ入力しなければならない。したがって、顧客は、データ入力の必要のない加盟店で積極的に購買を進めるようになるから、加盟店は非加盟店と差別化を図ることができる。請求項10の発明によれば、請求項1、2、3、4、5、6、7、8または9のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムをコンピュータで動作させることができる。

【図1】



【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態のインターネットを利用した家計・健康総合管理支援システムのネットワーク図である。

【図2】本実施形態の家計・健康総合管理支援システムのシステム構成図である。

【図3】本実施形態の家計・健康総合管理支援システムの画面展開図である。

【図4】本実施形態の家計・健康総合管理支援システムの画面展開図である。

10 【図5】顧客および店舗の登録画面である。

【図6】家計簿作成画面である。

【図7】家計簿表示画面である。

【図8】レシート表示画面である。

【図9】健康管理データ入力画面である。

【図10】健康管理データ表示画面である。

【図11】食品カテゴリー別消費状況表示画面である。

【図12】従来の家計・健康総合管理支援システムのネットワーク図である。

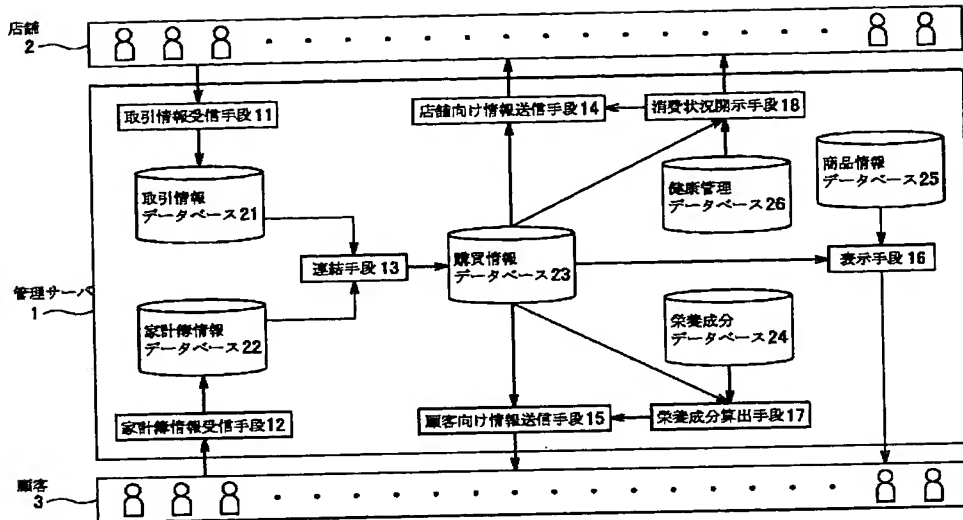
【符号の説明】

- 20 1 管理サーバ
2 店舗
3 顧客
21 取引情報データベース
22 家計簿情報データベース
23 購買情報データベース
24 栄養成分データベース
25 商品情報データベース
N インターネット

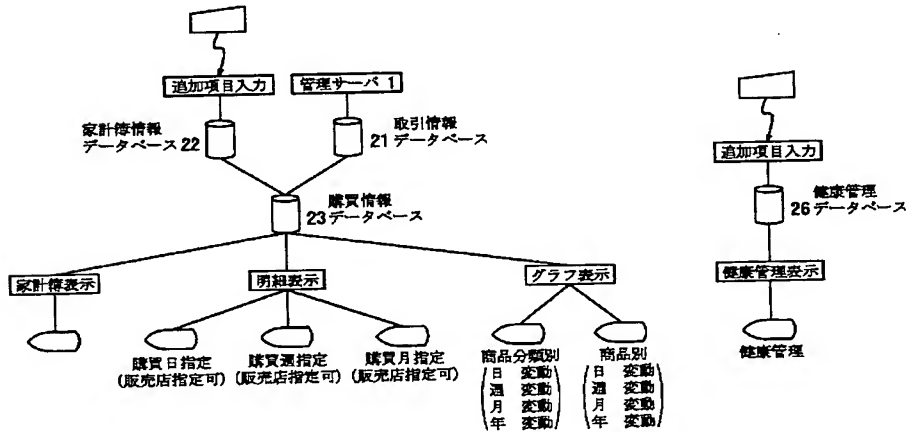
【図8】

レシート表示(日指定)		
入力 → 20□□年□□月□□		
[OK]		
販売店名	商品名	価格
A店	牛乳	198
B店	コーン	100
C店	サンダル	980
⋮	⋮	⋮

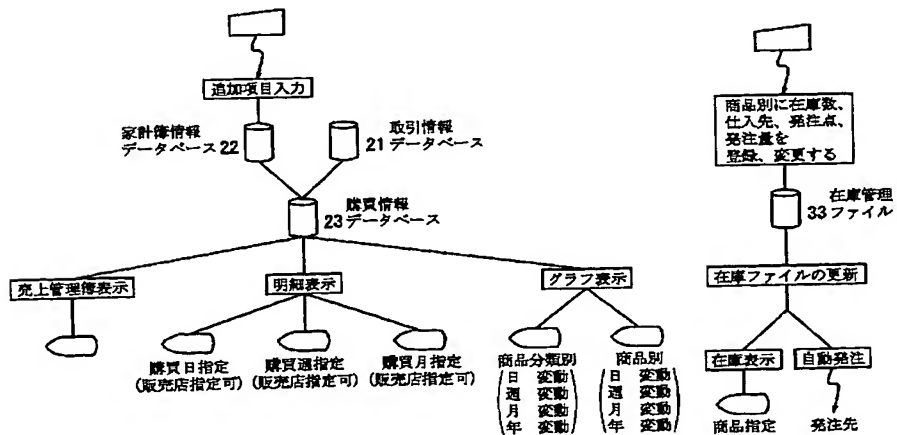
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図5】

新規加入

消費者
販売店

情報提供

消費者
販売店

(A)

新規加入 (消費者)

<本人>

氏名

性別

年齢

住所

E-mail

<家族>

氏名

性別

年齢

...

(B)

新規加入 (販売店)

販売店名

代表者名

住所

E-mail

電話

...

(C)

【図6】

家計簿作成

入力 → 20□□年□□月 OK

食費(加盟店)	33,761
食費(非加盟店)	<input type="text"/>
日常生活費(加盟店)	9,827
日常生活費(非加盟店)	<input type="text"/>
<固定費(1)>	
家賃(住宅ローン)	<input type="text"/>
ローン	<input type="text"/>
保険	<input type="text"/>
受信料	<input type="text"/>
新聞	<input type="text"/>
小遣い	<input type="text"/>
<固定費(2)>	
電気	<input type="text"/>
ガス	<input type="text"/>
水道	<input type="text"/>
電話	<input type="text"/>
その他	<input type="text"/>
今月使ったお金は	290,816 円です

【図7】

家計簿表示

入力 → 20□□年□□月 OK

食費	33,761
日常生活費	9,827
<固定費(1)>	
家賃(住宅ローン)	68,000
ローン	15,000
保険	23,800
...	
...	
...	
...	
...	
合計	290,816 円

【図10】

健康管理のページ2

2000年5月の各種栄養摂取状況

カロリー	56010 kcal
たんぱく質	850 g
脂質	1250 g
炭水化物	2510 g
ナトリウム	52 g
ビタミンA	100 mg
ビタミンB1	50 mg
...	
...	

【図9】

健康管理のページ1

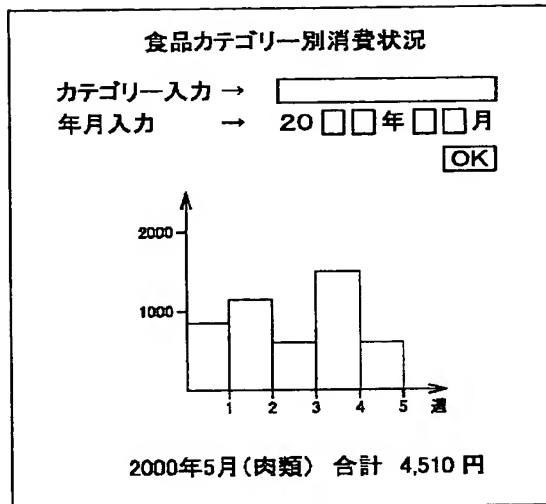
入力 → 20□□年□□月

入力

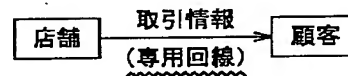
↓
消費状況

穀類			
米	5月2日	30kg	<input type="text" value="80"/> %
小麦	5月3日	500g	<input type="text" value="50"/> %
野菜			
ほうれんそう	5月2日	50g	<input type="text" value="100"/> %
いんげん豆	5月2日	30g	<input type="text" value="100"/> %
キャベツ	5月4日	100g	<input type="text" value="100"/> %
	5月10日	200g	<input type="text" value="100"/> %
	5月20日	150g	<input type="text" value="50"/> %
果物			
りんご	5月2日	1kg	<input type="text" value="50"/> %
みかん	5月2日	200g	<input type="text" value="100"/> %
菓子			
ポテトチップス	5月2日	100g	<input type="text" value="100"/> %
	5月10日	100g	<input type="text" value="100"/> %
	5月21日	100g	<input type="text" value="100"/> %
酒			
ビール	5月2日	1000cc	<input type="text" value="100"/> %
	5月10日	2000cc	<input type="text" value="50"/> %
日本酒	5月2日	1000cc	<input type="text" value="100"/> %
	5月8日	1000cc	<input type="text" value="100"/> %
	5月10日	1000cc	<input type="text" value="80"/> %

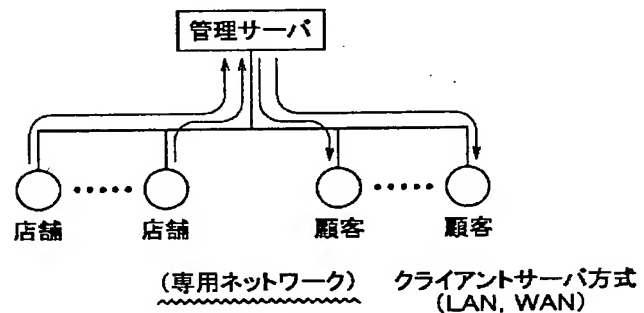
【図11】



【図12】



(I)



(II)